

5. 対外活動

5.1 東日本大震災アーカイブプロジェクト国際合同シンポジウム

シンポジウム名：東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウム「東日本大震災アーカイブの最前線と国境・世代を超えた挑戦」

日時：平成 24 年 1 月 11 日（水） 10:00～17:15

場所：仙台国際センター

主催：ハーバード大学，東北大学防災科学研究拠点，東北大学附属図書館，総務省

後援：科学技術振興機構（JST），株式会社 河北新報社

参照 URL：<http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/archive/symposium/20120111summary>

主旨：

3 月 11 日に発生した東日本大震災の実態や，そこからの教訓を後世に伝えるために震災の記録をアーカイブしようとする試みとして，被災地内外・国内外・官学民で様々なプロジェクトが立ち上がる。

本国際合同シンポジウムは，これら主要なアーカイブプロジェクトが一堂に会し，それぞれの最新の取組み状況を発信するとともに，パネルディスカッションを通じて，東日本大震災アーカイブの像の方向性について議論を行うことを目的として，下記の通りシンポジウムを開催した。

時間	内容	登壇者（敬称略）
10:00	開会の挨拶と趣旨説明	アンドリュー・ゴードン
東日本大震災アーカイブの最前線(1)：官・民（各 15 分）		
10:15	国立国会図書館の取り組み	原田久義
10:30	総務省の取り組み	黒瀬泰平
10:45	Yahoo! JAPAN の取り組み	高田正行
11:00	saveMLAK の取り組み	岡本真
11:15	The Internet Archive の取り組み	※登壇者未定
休憩（15 分）		
東日本大震災アーカイブの最前線(2)：学（各 15 分）		
11:45	防災科学研究所の取り組み	長坂俊成

12:00	東北大学の取り組み	今村文彦, 柴山明寛
12:15	ハーバード大の取り組み	アンドリュー・ゴードン
お昼休み (1時間 15分)		
過去の日本の大震災のアーカイブを学ぶ (45分)		
13:45	【特別講演】 阪神・淡路大震災における神戸大学附属図書館の取り組み	稲葉洋子
東日本大震災アーカイブの最前線(3) : 被災地 (各 15分)		
14:30	河北新報の取り組み	八浪英明
14:45	仙台メディアテークの取り組み	甲斐賢治
15:00	宮城県図書館の取り組み	熊谷慎一郎
15:15	岩手県立図書館の取り組み	稲森雅夫
15:30	東北大学附属図書館の取り組み	米澤誠
15:45	福島イノベーションセンターの取り組み	後藤浩
休憩 (15分)		
総合討論 (1時間)		
16:15	パネルディスカッション コーディネーター: アンドリュー・ゴードン, 今村文彦	登壇者全員
17:15	閉会の挨拶	今村文彦

5.2 東日本大震災アーカイブプロジェクト国際合同ワークショップ

以下の通り、東日本大震災アーカイブプロジェクト国際合同ワークショップを開催した。

1) WS1-1 : Discussion issue involving all participants, 全体会議

日時 平成 24 年 1 月 12 日 (木) 10:00~12:30

場所 仙台国際センター 小会議室 6 (宮城県仙台市青葉区無番地)

代表テーブル出席者

今村 文彦 (東北大学大学院 附属災害制御研究センター長・教授)

アンドリュー・ゴードン (ハーバード大学 ライシャワー日本研究所長・教授)
白石 啓 (国立国会図書館 電子情報部電子情報サービス課次世代システム開発研究室)
白石 牧子 (総務省 情報流通行政局情報流通振興課・制度係長)
菊池 久美子 (文部科学省 研究開発局地震・防災研究課)
三浦 伸也 (311 まるごとアーカイブズ・防災科学技術研究所・客員研究員)
柴山 明寛 (東北大学大学院 附属災害制御研究センター・助教)
高田 正行 (ヤフー株式会社 R&D 総括本部 FE 開発 2 本部開発 1 部・部長)
八浪 英明 (河北新報社 メディア局ネット事業・部長)
岡本 真 (saveMLAK・プロジェクトリーダー)
平林 潤 (アクセンチュア株式会社福島イノベーションセンター・マネジャー)

2) **WS1-2 : Discussion issue involving all participants, 全体会議**

日時 平成 24 年 1 月 12 日 (木) 13:30~17:00

場所 仙台国際センター 小会議室 6 (宮城県仙台市青葉区無番地)

代表テーブル出席者

アンドリュー・ゴードン (ハーバード大学 ライシャワー日本研究所長・教授)
白石 啓 (国立国会図書館 電子情報部電子情報サービス課次世代システム開発研究室)
三浦 伸也 (311 まるごとアーカイブズ・防災科学技術研究所・客員研究員)
柴山 明寛 (東北大学大学院 附属災害制御研究センター・助教)
高橋 義典 (ヤフー株式会社 サービス総括部開発部技術・リーダー)
八浪 英明 (河北新報社 メディア局ネット事業・部長)
平林 潤 (アクセンチュア株式会社福島イノベーションセンター・マネジャー)

3) **WS2-2 : Library cooperation discussions, 図書館間協力**

日時 平成 24 年 1 月 12 日 (木) 13:30~16:30

場所 仙台国際センター 小会議室 7 (宮城県仙台市青葉区無番地)

出席者

竹谷隆則, 東喜洋 (岩手大学附属図書館)
對馬庸二 (福島大学附属図書館)
高橋和, 齋藤公美雄 (山形大学小白川図書館)
須田充彦, 佐藤恵 (東北学院大学図書館)
澤口祐子, 菊池和人 (岩手県立図書館)
内馬場みち子, 渡辺泰子, 熊谷慎一郎 (宮城県図書館)
遠藤豊 (福島県立図書館)
田中知代子, 佐々木章子 (仙台市民図書館)
尾形英昭 (石巻市図書館)
岡本真, 江草由佳, 高久雅生 (saveMLAK)

白石啓（国立国会図書館）

佐藤賢一（電気通信大学）

佐藤翔輔，岩崎雅宏（東北大学災害制御研究センター・みちのく震録伝）

野家啓一，柳澤輝行，片山俊治，米澤誠，小陳左和子，佐藤初美，永井伸（東北大学附属図書館）

4) WS1-4 : Technical discussions, 技術会議

日時 平成 24 年 1 月 13 日（金） 10:00～12:30

場所 仙台国際センター 小会議室 6（宮城県仙台市青葉区無番地）

代表テーブル出席者

今村 文彦（東北大学大学院 附属災害制御研究センター長・教授）

アンドリュー・ゴードン（ハーバード大学 ライシャワー日本研究所長・教授）

コンラッド・ローソン（ハーバード大学大学院・博士課程）

白石 啓（国立国会図書館 電子情報部電子情報サービス課次世代システム開発研究室）

三浦 伸也（311 まるごとアーカイブズ・防災科学技術研究所・客員研究員）

田口 仁（311 まるごとアーカイブズ・防災科学技術研究所・研究員）

高野 明彦（国立情報学研究所 連想情報学研究開発センター長・教授）

柴山 明寛（東北大学大学院 附属災害制御研究センター・助教）

高橋 義典（ヤフー株式会社 サービス総括部開発部技術・リーダー）

八浪 英明（河北新報社 メディア局ネット事業・部長）

星 文彦（河北新報社 メディア局ネット事業）

5) WS1-5 : Managerial/Institutional discussions: 運営/組織の議論

日時 平成 24 年 1 月 13 日（金） 13:30～17:00

場所 仙台国際センター 小会議室 6（宮城県仙台市青葉区無番地）

代表テーブル出席者

アンドリュー・ゴードン（ハーバード大学 ライシャワー日本研究所長・教授）

コンラッド・ローソン（ハーバード大学大学院・博士課程）

白石 啓（国立国会図書館 電子情報部電子情報サービス課次世代システム開発研究室）

三浦 伸也（311 まるごとアーカイブズ・防災科学技術研究所・客員研究員）

田口 仁（311 まるごとアーカイブズ・防災科学技術研究所・研究員）

柴山 明寛（東北大学大学院 附属災害制御研究センター・助教）

立堀 道昭（IBM 東京基礎研究所・主任研究員）

佐竹 正範（ヤフー株式会社 事業戦略統括本部本部企画部企画マネジャー）

高橋 義典（ヤフー株式会社 サービス総括部開発部技術・リーダー）

星 文彦（河北新報社 メディア局ネット事業）

江草 由佳（saveMLAK・国立教育政策研究所・主任研究官）

高久 雅生 (saveMLAK・物質・材料研究機構・主任エンジニア)

5.3 学会発表

柴山明寛, 佐藤翔輔, 今村文彦: 東日本大震災における災害アーカイブに関する研究, 平成 23 年度東北地区災害科学研究集会, 2012.1.8, 岩手

柴山明寛: 東北大学による東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」日本建築学会・第 34 回情報・システム・利用・技術シンポジウム, オープニングパネルディスカッション「東日本大震災における情報通信技術の役割」, 2011.12.15, 東京

柴山明寛, 佐藤翔輔, 今村文彦, 阿部恒之, 本多明生: 東北大学による東日本大震災アーカイブプロジェクト, 東北大学による東日本大震災 6 ヶ月後報告会, 2011.9.13, 仙台

5.4 報道

- 2011.09.12 ITmedia: 東日本大震災のアーカイブプロジェクトに日本 IBM が協力
- 2011.09.12 日経プレスリリース: 日本 IBM, 東北大学と東日本大震災アーカイブシステムのパイロットシステムを構築
- 2011.09.12 クラウド Watch: 東北大の東日本大震災アーカイブシステム, 日本 IBM が構築へ
- 2011.09.13 時事通信: 大震災記録を徹底収集＝「東海」などに備え 10 月公開－東北大
- 2011.09.13 マイコミジャーナル: IBM, 東日本大震災アーカイブシステムのパイロットシステム構築へ
- 2011.09.30 日刊工業新聞: 東北大, 震災アーカイブプロ始動, 情報基盤システムの構築へ
- 2011.10.27 東北大学新聞: みちのく震録伝始動
- 2011.11.25 読売新聞に「みちのく震録伝」が掲載
- 2011.12.01 Inter BEE online: NHK メディアテクノロジー東日本大震災映像を東北大学のアーカイブプロジェクトに提供
- 2011.12.15 河北新報: 千年後に震災伝える 東北大・デジタル資料収集, 公開
- 2012.01.11 仙台放送: 震災の教訓を後世に伝えるために 仙台でシンポジウム
- 2012.01.12 河北新報: 震災記録の共有化必要 研究者ら認識一致 仙台でシンポジウム
- 2012.02.13 朝日新聞: 東北大学による東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝(しんろくでん)」において, 情報収集活動員(みちのく・いまをつたえ隊)が活動中です.
- 2012.02.15 事務機ニュース: 賀詞交歓会開く みちのく震録伝に協力(今村, 佐藤翔輔, 防災科学研究拠点)
- 2012.02.24 河北新報: 震災動画・ブログ収集
- 2012.02.27 朝日新聞: あの日, そして今 被災地を記録

- 2012.03.10 河北新報：平穩戻る日 いつ 先のこと考えられぬ 被災者アンケート
- 2012.03.10 河北新報：住宅再建 3 割見通せず 復興遅れに焦燥感 被災者アンケート
- 2012.03.10 河北新報：つながり維持して発展を（今村）
- 2012.03.15 河北新報：多様な文書集めてアーカイブ作成を（今村）

5.5 プレスリリース

- 2011.09.12 「みちのく震録伝」本格始動
- 2011.12.03 株式会社 NHK メディアテクノロジーが取材記録した東日本大震災の被災地 3D 映像の提供
- 2011.12.01 インフォマティックスの「東北大学研究者による復興写真マップ」を公開
- 2012.01.25 グローバル・サーバイ株式会社の「エアクルーズ 震災前後の記録」を公開
- 2012.02.13 情報収集活動員（みちのく・いまをつたえ隊）が活動中です
- 2012.03.12 アジア航測株式会社の「LVSquare みちのく」を公開
- 2012.03.19 国際航業グループの「東日本大震災ライブラリー」を公開

5.6 雑誌

- 2011.12.01 InterBEE online に掲載
- 2011.12.12 電波タイムズに掲載
- 2012.01.25 月刊ニューメディアに掲載
- 2012.04.15 月刊 IM に掲載

6. 関係機関との協定

別途，追記するものとする。

7. ロゴマーク

ロゴマークは東北の力強さ, 勢いを筆で表現. “山と海をもつ自然の力を示す”グラデーション, “勤勉と実践”を示す黒を使用. ローマ字の M と S を合成した.



図 8-1.みちのく震録伝ロゴ (上)

8. むすび

東日本大震災が発生して1年が経過し、被災地の復旧・復興が進みつつあります。しかし、時が経過するとともに震災の記憶、記録、事例、知見が風化していく恐れがあります。それは、津波痕跡や瓦礫撤去などの物理的な現象だけではなく、被災者の震災経験の記憶も断片的になってきております。「みちのく震録伝」では、1年間に渡り、震災記録の収集活動を進め、数多くの記録を収集しましたが、まだまだ力不足なところがあり、東日本大震災の規模からしてほんの一部の記録でしかありません。これらの記録の収集は、今後も継続的に行い、隈無く記録を集めていく所存です。

この1年の活動を継続的かつ発展的に進めてこられたのも、数多くの賛同協力機関と他のアーカイブ団体の支援と協力があったからこそでした。賛同協力機関には、WGを通して数多くの震災記録の収集や提供、電子化の方法の確立、システムの全体設計、ストレージ設計などの議論に参加していただき、みちのく震録伝の方向性を定めることができました。今後も更なる発展を目指してWG活動を継続していく所存です。

今後も「みちのく震録伝」は、震災の教訓を集め続け、防災・減災社会の基盤となる震災アーカイブを構築していく所存です。